

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	舢松職能訓練センター管理事業			事業番号	015-015
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	地域産業

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.5
			有	取組	女性、若者、高齢者、障害者など求職者に応じた就労支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 63 年度	点検対象年度	令和 5 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関（舢松職能訓練センター）			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	自立通所が可能で、働く意欲のある心身障害者。	対象数	10	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	企業への就労が困難な心身障害者に対し、一定の職業的訓練（職業能力の開発・技能養成等）と生活指導を行うことを目的とする舢松職能訓練センターの施設維持管理を行う。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	堺市立舢松職能訓練センターの適切な維持管理			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）				
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	施設の適正運営					
	当該目標を設定した理由	適正な施設運営により、心身障害者に対して職業的訓練や生活指導を行うことができるため				
	目標に対する実績	施設の適正な維持管理				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	施設の無事故稼働日数	日	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	242	243	245
			実績値	242	243	
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	施設整備を適切に行うことにより、無事故で稼働できていることが評価できるため					
目標値の設定根拠・算出方法	目標値は年間日数-休館日（土、日、祝、12/29～1/3）					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	舳松職能訓練センター管理事業	事業番号	015-015
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	2,347	1,972	3,043	1,411	2,963
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
	一般財源	2,347	1,972	3,043	1,411
14 人件費 (b)	820	820	820	820	810
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,167	2,792	3,863	2,231	3,773

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	施設等修繕料	R4 決算	0	0		R4	決算	
		R5 予算	1,500	1,500		R5	予算	
	機械・機器等借上料	R4 決算	1,190	1,190		R4	決算	
		R5 予算	1,191	1,191		R5	予算	
	堺市立舳松職能訓練センター特殊建物等建築設備定期点検業務	R4 決算	215	215		R4	決算	
		R5 予算	220	220		R5	予算	
消耗品費	R4 決算	6	6		R4	決算		
	R5 予算	52	52		R5	予算		
	R4 決算				R4	決算		
	R5 予算				R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 施設の無事故稼働日数	日	242	243
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,792	2,231
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	11,537	9,181
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>施設管理者として、ソフト事業を実施する施設の職員と連絡を密に取っており、施設に不具合等が生じた際には速やかに連絡が入り、迅速に対応しているため、事故等を未然に防ぐことができている。</p> <p>令和4年度においては、修繕工事等の所用がなく、単位当たり経費を抑えることができ、効率的に施設を管理することができた。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>本事業により施設の維持管理を行うことで、ソフト事業を実施する各関係機関が安全に障害者の職業的訓練等の機会を提供することができた。</p> <p>今後も引き続き、関係機関と調整し、安全に施設利用ができるよう施設の維持管理に努める。</p>
----	---